

# ウニの仲間



# 水族館へ行こう!

## 京都大学白浜水族館

# 太田 満

ある朝、観覧通路が水浸して大慌てしたことがあった。ムラサキウニやツマシロナガウニ、クロ

ラスとコンクリート壁とのすき間を埋めているシリコーン樹脂がほとんど削り取られていた。さらに、水槽全体を防水しているエポキシ塗装が一部はがされ、コンクリートがむき出しになっていた

には自ら掘った穴の中にすっぽり納まった。最初40センチほどの砂岩の置き石は、ウニが四方八方からボーリングするた

かじり取った餌をかみ砕く。歯は細長く、口器の中で輪状に5個並んでおり、硬い先端部を突き出して、岩をかじり取る事ができるのだ。口器は「アリストテレスのちようちん(ランタン)」とも呼ばれている。古代ギリシャの哲学者アリストテレスが海産動物の研究をしていて、その形をランタンに例えたことになんてい

# 水槽食べて水漏れ?

218号水槽

ウニ、シラヒゲウニなど、10種ほどのウニを展示している水槽から海水が漏れ出したのだ。

すべてウニの仕業だった。この水槽ができて10年以上たつ。ウニたちは長い歳月をかけてかじり取ってしまったのだ。

この事件につながる出来事はすでにいくつか起きていた。タワシウニは石組みのくぼんだところをどんどん掘り進み、つ

では、ガラス面に常に数匹のウニが張り付いているので、5個の白い歯とそれらの動きを間近に見られる。特に餌をやった後には、ワカメやパレット、オキアミなどを食べている様子が観察できる。

△  
ワカメを食べるムラサキウニ  
(水槽番号218)

この事件につながる出来事はすでにいくつか起きていた。タワシウニは石組みのくぼんだところをどんどん掘り進み、つ

の骨と筋肉からできていて、歯を力強く動かす、

(京都大学技術専門職員)